令和3年度　福井市岡保小学校スクールプラン

学校教育目標

自ら学び、共に生きる子どもの育成

児童の実態
- 明るく素直で元気
- 真面目に活動する
- 仲良く面倒見がよい
- 読解力が不十分
- 生活体験が少ない

保護者・地域の願い
- 挨拶ができる子
- 夢をもつ子
- 思いやりのある子
- 地域を愛する子

＜目指す児童像＞
思いやりのある子
たくましい子
よく考える子

＜目指す教師像＞
学び合う教職員
協働する教職員

＜福井市学校教育目標＞
郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子どもの育成

＜学校教育方針＞
地域に根ざす「学びの一貫性」

＜大東中学校区教育テーマ＞
主体的に学び、伝え合える子の育成
- 計画的に学習する子
- 自分の意見や考えを伝え合える子
- 思いやりの気持ちを持ち優しく接する子
- さわやかなあいさつをする子
- 友だちと協力して活動する子
- 地域と積極的にふれあう子

研究主題
自らの考えをもち、ともに学び合う子どもの育成
～教科横断的カリキュラムを生かした、つながり合って学ぶ授業づくり～

＜重点目標・具体的な取り組み・数値目標＞

学び合う授業づくり
◎主体的に聴き伝え合う力の育成
○基礎基本の定着と自主学習の推進
○読書活動の推進

○学習ルールを徹底し、一人１台のタブレットを活用した聴き合い、伝え合い学び合う授業づくりをする
○朝学習(漢字、計算、スピーチ等)により基礎基本の定着を図る
○学年に応じた宿題の出し方を工夫し、自主学習の習慣づけを図る
○学校図書館の活用の工夫と家庭の協力により読書の質の向上を図る

達成率90％以上
- 児童に聴き合い伝え合う力がついたと答える教員
- 授業が楽しいと答える児童
- 自主学習を進んで行う児童
- 進んで読書をする児童

豊かな心づくり
◎さわやかで元気な挨拶の推進
○つながりを大切にした温かい集団づくり
○道徳・人権教育の推進・充実

○家庭・地域が一体となり挨拶運動を推進する
○思いやりや感謝の心を育む主体的な集会活動や縦割り活動を工夫する
○QUや心のチェックカードの活用、専門機関等との連携などにより、いじめ・不登校などの早期発見・事案対処に努める
○よりよい自分の在り方と他者を思いやりながら考え議論する道徳の時間を工夫する

達成率90％以上
- 児童は進んであいさつができると答える保護者
- 学校へ通うのが楽しいと答える児童
- 道徳で考えが深まったと答える児童

健やかな体づくり
◎体力・持久力の向上
○基本的な生活習慣の定着
○心身共に健康な体づくり

○大休みに持久走をする「元気タイム」と屋内での「なわとびタイム」により、体力・持久力の向上を図る
○「早寝・早起き・朝ごはん」を推進し、よりよい生活習慣を定着させる
○感染症から身を守るための工夫ある健康指導で自己管理力を高める

達成率90％以上
- 「元気タイム」と「なわとびタイム」で自分の目標を達成した児童
- 「早寝・早起き・朝ごはん」が定着していると答える保護者
- 自分の健康に気をつけていると答える児童

信頼される学校づくり
◎園小中、保護者、地域や各種団体との連携の推進
○教育活動の積極的な情報発信
○体験活動を重視した地域に開かれた安心・安全な学校

○児童の地域行事への参加を推進し、学校田・畑、スキー教室は、保護者、ボランティアなどと連携して進める
○HPや学校便りなどで教育活動の様子を頻繁に発信する
○スムーズな接続のため、園小中連携を深め交流活動を行う
○安全な学校環境の維持や危機管理意識の向上に努める
○家庭や関係機関と連携・協力してスマートルールの徹底を図る

達成率90％以上
- 学校は地域と連携していると答える保護者
- 学校は適切に情報発信をしていると答える保護者
- 児童はスマートルールを守っていると答える保護者

業務改善の取り組み
- 会議終了時間の遵守とペーパーレス化の推進
- ノー残業デーの徹底
- 校務＋αによる共助体制
- タブレットと校内LANを活用した業務軽減
- 学校運営支援員や大学生、ボランティアなどの積極的な活用